

開催報告【WEB】令和5年度質量分析講習会 -マススペクトル解析の応用-2-

【開催日時】 2024年2月26日(月) 13時30分～16時00分(途中参加・途中退室可)

【場所】 WEB ミーティング(ZOOM)

【世話人】 質量分析技術者研究会 講習会担当：大阪大学 三宅里佳、奈良先端科学技術大学院大学 西川嘉子、鳥取大学 横野瑞希、北海道大学 岡征子、名古屋大学 瀧健太郎、大阪公立大学 江上美佳

【講師】 高橋 豊 氏 (エムエス・ソリューションズ株式会社)

【参加対象者】 MS測定経験者および今後、測定する予定のある方。

【参加者】 21人

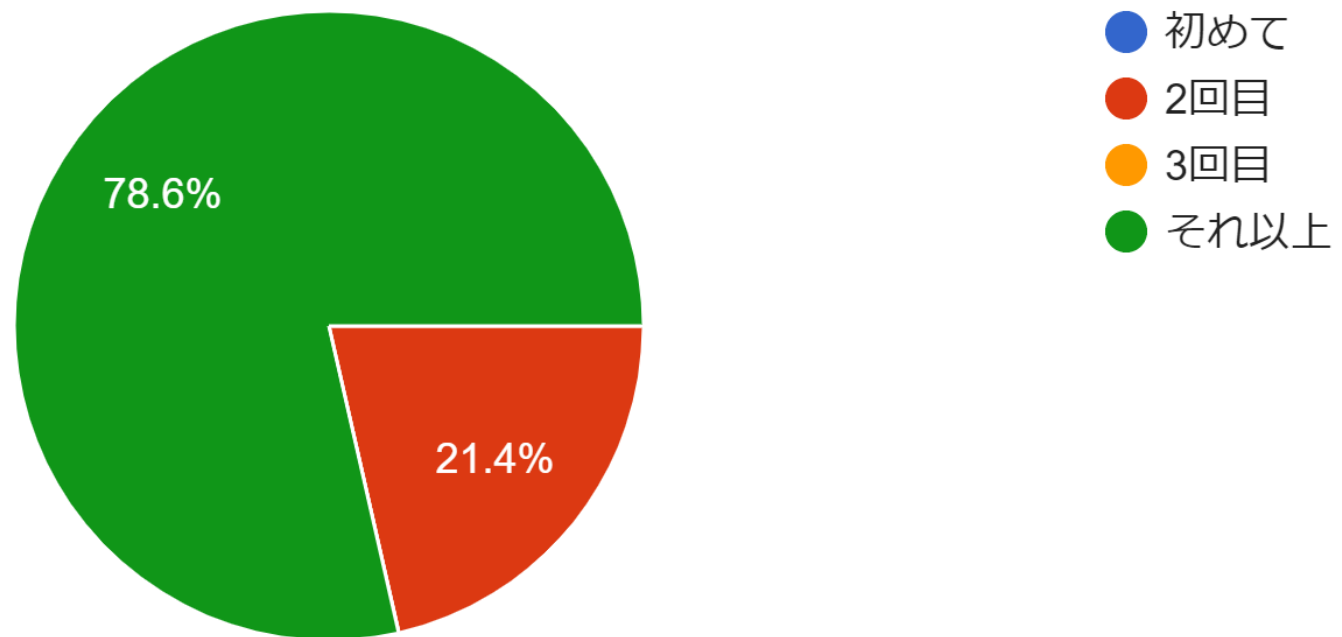
【プログラム】

13:30-16:00

(1) マススペクトル解析支援ツールを使ってみよう

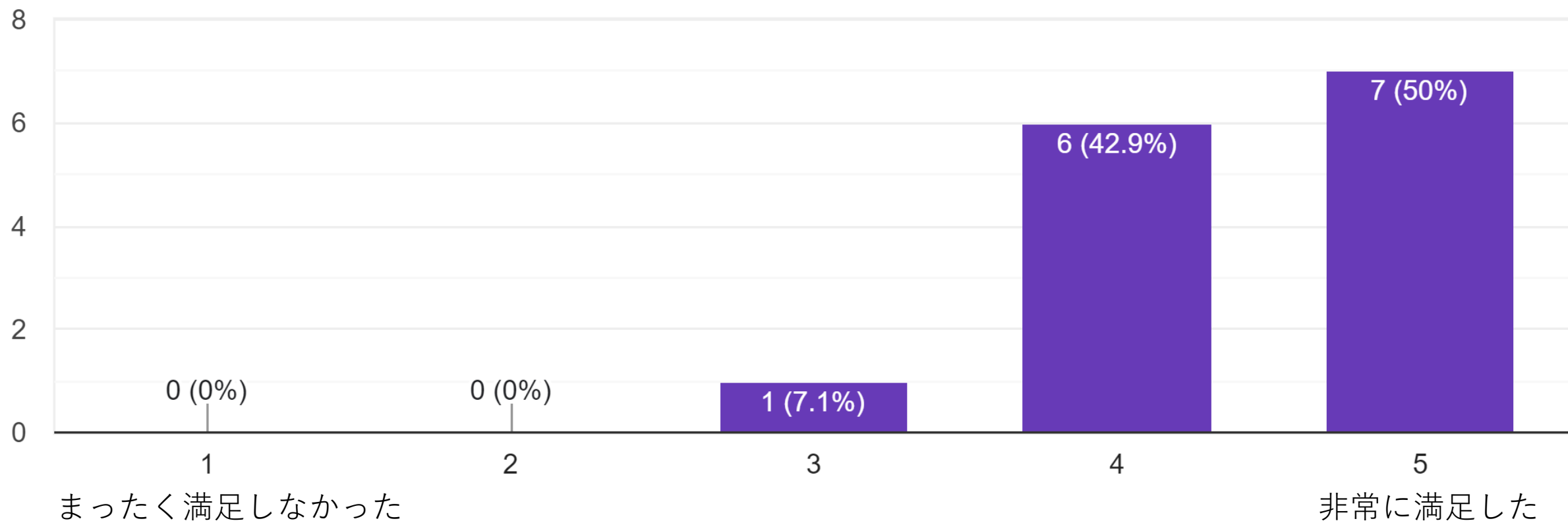
設備ネット 質量分析講習会への参加は初めてですか？

14件の回答



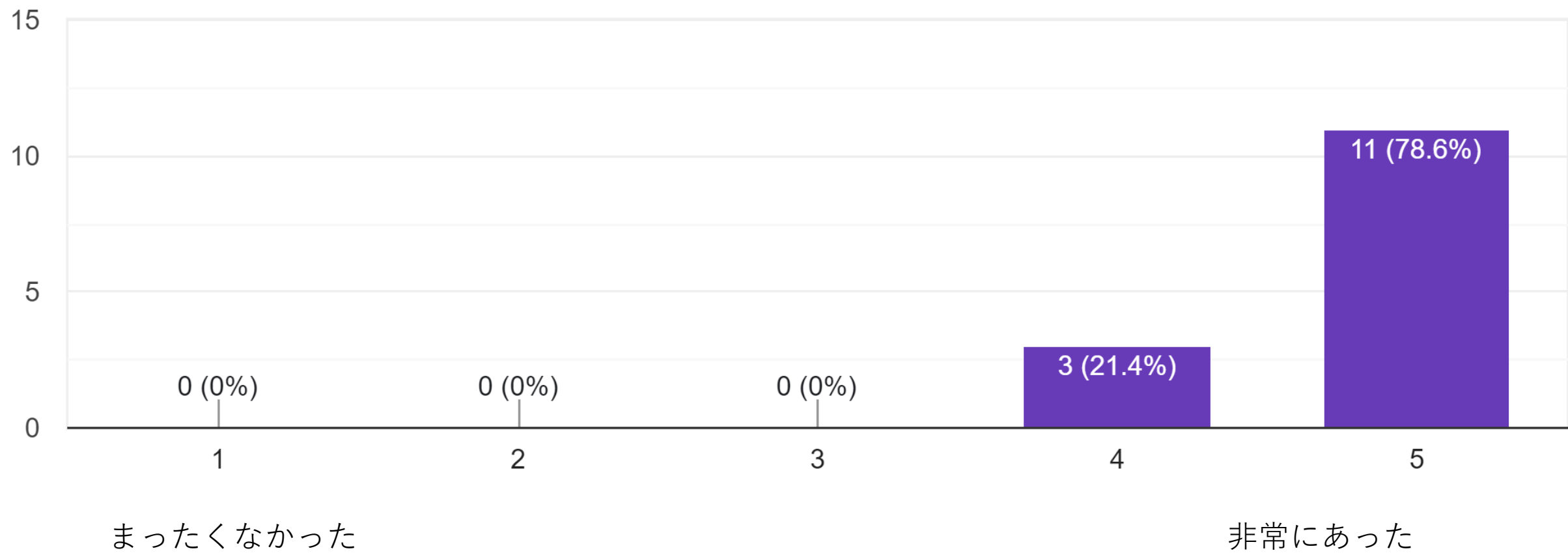
セミナーにはどのくらい満足されましたか。

14件の回答

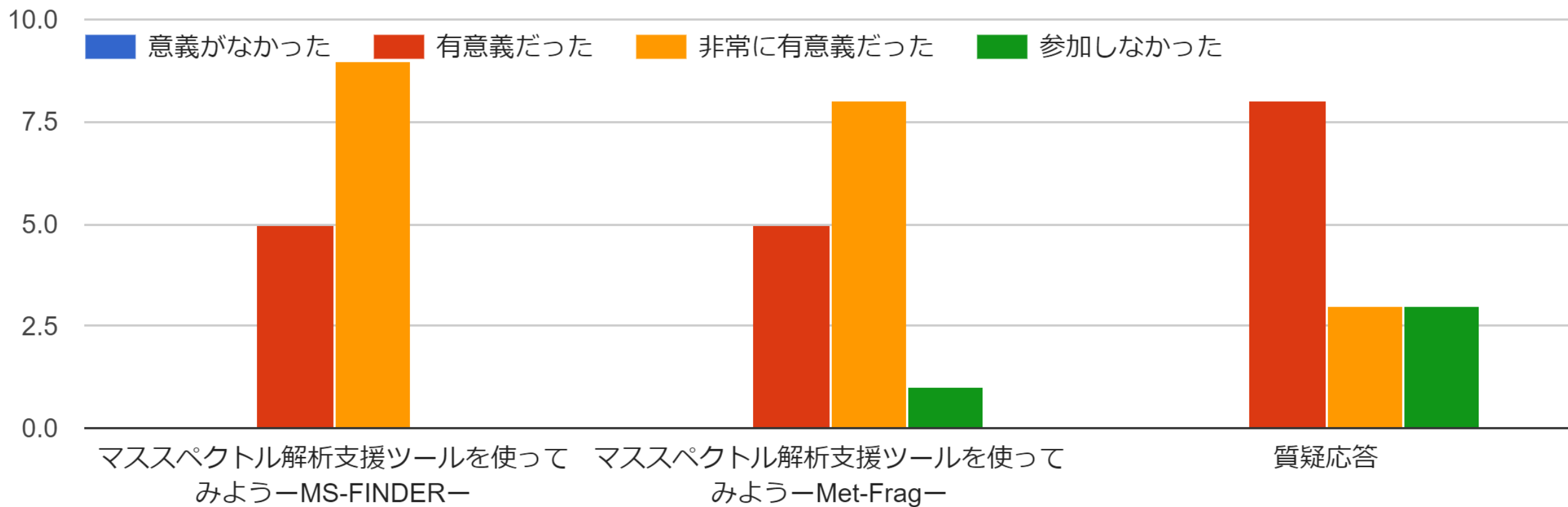


ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分がありましたか。

14件の回答



セミナーの各セッションは、どのくらい有意義だと感じましたか。



質問があればご記入ください。可能な限りフィードバックします。

- PSQ(ポリシスキオキサン)のLCMSでの分析実績などありますでしょうか。Siを含む化合物特有の留意点などはありますでしょうか。
- MSMSで得られるプロダクトイオンと、純粋なフラグメントイオンで異なるマススペクトル得られることは良くありますでしょうか。

- ポリシロキサンはLC/MSでバックグランドイオンとして観測されるので普段から見ているのですが、PSQは分析した事はありません。Siを含む化合物は、イオン化法にも依りますが、アルキル基が脱離したイオンが観測される事が多いと思います。

学生時代、主骨格が全てSiで構成される化合物をEIで沢山計りましたが、結構な割合で側鎖のアルキル基が脱離したフラグメントイオンがメインで観測されました。ポリシロキサンは、ESIではあまりフラグメントイオンは観測されないようです。ただし、アルキル基の種類によると思います。

質問があればご記入ください。可能な限りフィードバックします。

- 二番目の化合物で、ご本人が書いているC₁₉H₂₆O₃ではなく窒素の含まれる方の分子式で解析を進めたのは、わざとすんなりいかない時の対応を見せるためでしょうか？ それでもプロダクトイオンが結構一致していて、解析するひとは注意が必要だと感じました。
いっぽう、花を採取しLC-MSした例では、このようなわずかな量で、モノ(今回は青酸配糖体)が検出されることに感動しました。ある程度候補が絞れて標品が用意できるのなら同定が可能で、MSの威力を改めて実感しました。
- その場で貰ったデータをアドリブで解析したので、正直よく覚えていませんが、その時に示した候補の方がプロダクトイオンがIn-Silicoの予測パターンとの一致度が高かったからだと思います。

質問があればご記入ください。可能な限りフィードバックします。

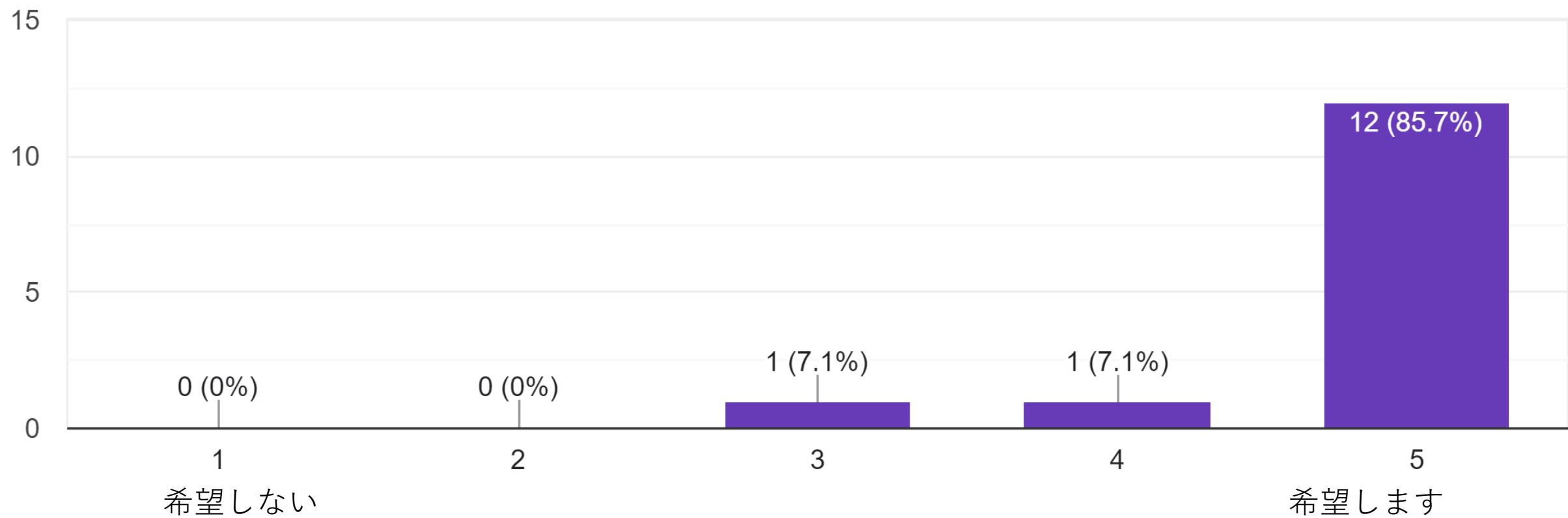
- テキストファイルをmspに保存し直して、importしてみたのですが、structure finderがうまく表示されないのは、必要データがまだ全部ダウンロードできていないのでしょうか。
- 状況を見てみないと何とも言えませんが、mspファイルの元になるテキストデータに一部でも抜けがあると、インポートは出来るけど結果は表示されないという現象は起こります。解析に用いたデータがどんなものか分かりませんが、データベースにないものであれば、結果が表示されない事は有り得ます。

このセミナーの感想をご自由にお書きください。

- 解析支援ツールが安全ではないためブロックされていたので、DLできずただ聞いているだけだったので、残念でした。
- 実際に講師と共にソフトウェアを使う事で使い方を深く理解できた
- 日程重なってしまい申し訳ありません。
- 花の成分の解析が興味深かったです、自分で測定できるサンプルを作れるなら、精製する方法も興味があります。
- まだ未熟者なのですが、妙に忙しくなってしまう、最後の質疑応答まで聞けないことが出てきました。でもすごく有意義な講習会なので、来年度以降も基礎講座を続けて欲しいです。まだまだ分からないと思いつつも大変勉強になっています。
- 入試日（2/25, 2/26, 3/12, 3/13にセミナーを開催するのは避けてほしい
- データ解析ソフトの使用法のセミナーはもっと受講したいです。
- 機会があったら使ってみたいソフトウェアです。要望が無いのでMS/MS測定を行う事が無いのですが、ちょっと考えてみます。
- MS-FINDERを使用したことがなかったので使い方が分かってよかった。
- すみません、ほとんど聞けませんでした。Met-Frag使ったことないので資料だけで共有していただけると助かります。

今後もこのようなセミナーの開催を希望されますか。

14件の回答



今後企画してほしいセミナー内容やご意見ございましたらご記入ください。

- イオン化条件(質量分析装置の測定条件)の最適化までの流れ
- ハードウェアについてやりたいと考えています。真空とか電気とかイオン光学とか。
- Skylineというソフトの使い方を知りたいです。



三宅里佳_大阪大



瀧 健太郎 (名古屋大学)



高橋 豊 (浜医大)



堀 (東京大学)



六本木 誠 (宇都宮大)



高垣さとこ_名古屋市立大学



杉村 夏彦 (早稲田大学)



塩川 つくみ_岡山大学



筑波大学分析部門 篠原 由寛



鳴津小百合 (神戸大)



齋藤 純希(東洋紡)



佐賀大学新地



鳥居(名古屋大学)



E. Fukushi (Hokudai)



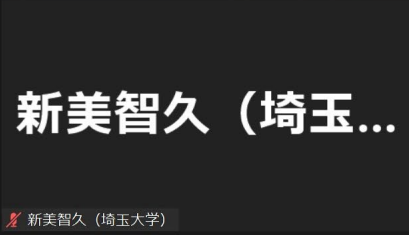
Miura Yutaka(自治医科大学)



竹本裕之 (静岡大学)



吹上菜穂 (岩手大学)



新美智久 (埼玉大学)



横野_鳥大



三宅里佳_大阪大2

新美智久 (埼玉...

横野_鳥大

三宅里佳_大阪大2

佐藤 匠(JNC)

onaka_IAS

佐藤 匠(JNC)

onaka_IAS